

■ワークショップの様子

・「環境の専門家による講義で課題と目標を明確化」

本プロジェクトの第1回目のワークショップでは、学生たちは、環境省脱炭素ライフスタイル推進室のご担当者による環境問題および「デコ活」についての講義を受講しました。その後、「デコ活」のテーマの中から、各自が関心のあるテーマごとにグループに分かれて議論をスタートさせ、各テーマの現状の課題や目指すべきゴールについて、初対面ながらも活発な意見交換を行いました。



・「アイデアの創出から具体化へ」

第2～4回目のワークショップでは、阪急阪神マークティングソリューションズのコーピーライター・デザイナーのアドバイスを受けながら、ポスターの企画立案・制作を進めました。ポスターのコンセプトとして「誰に」「何を伝えるべきか」を考え、また伝えたいメッセージをどのようにデザインやキャッチコピーで表現するかを検討しました。どのグループも、見た人の心に響く表現方法や自分達ならではの伝え方を模索していました。



・「“自分ゴト化”の実現に向けて」

第5回目のワークショップでは、プロジェクトの集大成として、完成したポスターの発表会を開催しました。各グループが「自分ゴト化」の実現に向けて検討したキャッチコピー・デザインの決定までのプロセスをプレゼンテーションしました。発表後には、学生一人ひとりが今回のプロジェクトを通じて得たことや、新たな発見を共有しました。



大学や学年を越えて認め合い、高め合う学生たちの姿が印象的なワークショップとなりました。

■阪急阪神全線カーボンニュートラル運行の概要

阪急阪神ホールディングスグループでは、サステナビリティ宣言において「環境保全の推進」を重要テーマの一つとして定め、地域とともに発展してきた企業グループとして、脱炭素社会の実現に向け、自らの事業活動のみならず、まち全体の環境負荷の低減を目指した取組を推し進めています。2025年4月から阪急阪神全線の列車運行及び駅施設等で使用する全ての電力を実質的に再生可能エネルギー由来の電力とし、CO₂排出量ゼロで運行しています。ご利用いただくお客様に再生可能エネルギーを身近に感じていただくことで、脱炭素化への機運醸成や再生可能エネルギーの活用の後押しにも貢献していきたいと考えています。

■環境省「デコ活」とのタイアップ

阪急阪神全線カーボンニュートラル運行記念ラッピング列車内に、「デコ活」のポスターを掲出し、日々の暮らしの中での環境に対する心がけを周知しています。今回のワークショップも、環境省の協力のもと、官民が一体となって、公共交通の利用促進など脱炭素な暮らしの実現に向けた取組を推進していることをお客様に認知いただきたいと考えています。



■阪急阪神ホールディングスグループの「環境保全の推進」について

「ともに創ろう。澄みわたる未来と、心はずむ暮らしを」をスローガンに掲げ、サプライチェーンを超えた「社会全体の脱炭素化の推進」、緑化・自然保護による「地域の魅力向上」、廃棄物の削減・リサイクルの促進を通じた「環境負荷低減と付加価値向上の両立」をテーマに、環境に配慮した取組を推進していきます。

詳しくはホームページをご参照ください。

<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/sustainability/materiality/environment/>



環境分野の取組のイメージ